

| | | | | | |
|---------|---------|-----|---------|-----|---|
| 授業科目・形態 | 小児看護学概論 | 講義 | 必修・選択の別 | 必修 | |
| 担当者氏名 | 佐藤光子 | 開講期 | 2年前期 | 単位数 | 1 |

【授業の主題】

子どもたちがより健やかに成長・発達をとげていくことは人類共通の願いである。これからの社会を担う子どもたちの命を守り、困難な状況を改善し、健やかな成長・発達を保証することは社会全体の責務でもあるが、医療・看護の役割は特に大きいといえる。子どもを取り巻く環境が急激に変化しているなかで子どもの健康を守り、健やかな成長・発達を支えるためには対象である子どもの特徴について学ぶことが欠かせない。また子どもを取り巻く環境として家族や社会の状況を知る意義は大きい。子どもへの直接的な支援と共に、家族が安心して育児にあたることのできる環境づくりが小児看護の重要な役割であることを理解することが重要である。

【到達目標】

1. 小児看護の対象と看護師の役割を理解する
2. 小児の成長・発達の特徴を理解する
3. 小児の発達段階に応じた生活援助方法を理解する。
4. 小児を取り巻く家族・社会の環境を理解し、小児看護の特性と保健、福祉について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 小児看護の特徴と理念
- 第2回 小児の成長と発達
- 第3回 小児各期の健やかな成長と発達のための看護 ①新生児・乳児
- 第4回 小児各期の健やかな成長と発達のための看護 ②幼児・学童
- 第5回 小児各期の健やかな成長と発達のための看護 ③思春期・青年期の小児
- 第6回 小児・家族のアセスメント
- 第7回 小児と家族を取り巻く社会
- 第8回 まとめ

【授業実施方法】 講義

【授業準備】

現代の子どもと家族がおかれている状況には様々な問題があります。子どもが健やかな成長・発達をしていく上でどんな問題があるのか、マスメディアの情報や参考書を関心を持って見てください。

【主な関連する科目】「小児看護学方法論 I」「小児看護学方法論 II」「病態治療学 III（小児科）」

【教科書等】

系統看護学講座 専門 II 小児看護学 [1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論、医学書院、

【参考文献】 授業で適時紹介する。

【成績評価方法】

定期試験 90%、授業参加態度、及び出席状況等 10%を総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

子どもと家族を取り巻く社会の変化をふまえ、健やかな成長と発達を支援するための小児看護の役割を理解してほしいと願っています。